

安全データシート

作成日 2022年06月16日
改訂日 2023年08月21日

1. 製品及び会社情報

製品名 : シャイニー浸透角型専用補充インキ
商品コード : 751-204、751-213、751-231、黒、赤、朱色
会社名 : プラス株式会社ジョインテックスカンパニー
住所 : 東京都千代田区永田町2-13-10
担当部門 : 品質管理部
電話番号 : 03-6205-8523
用途と使用上の制限 : インキ

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性 : 区分に該当しない
健康に対する有害性
急性毒性 (経口) : 区分に該当しない
急性毒性 (経皮) : 区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 気体) : 区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気) : 区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト) : 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響 : 分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響 : 分類できない
標的臓器/全身毒性 (単回ばく露) : 分類できない
標的臓器/全身毒性 (反復ばく露) : 分類できない
誤えん有害性 : 区分に該当しない
環境に対する有害性
水生環境有害性 短期 (急性) : 分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性) : 分類できない
オゾン層への有害性 : 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示 : 該当しない

注意喚起後 : 該当しない

危険有害性情報 : 分類区分に該当しない

注意書き : **【安全対策】**

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

P301+P330+P331 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P302+P352 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

P305+P351 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

P337+P313 眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受けること。

P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。

【保管 (貯蔵)】

P403+P235 換気の良い場所に保管すること。涼しいところにおくこと。

【廃棄】

P501 内容物/容器を法令で指定された処理業者にて処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分	CAS No.	濃度又は濃度範囲 (wt%)		
		黒	赤	朱色
ポリプロピレングリコール	25322-69-4	90-92	88-92	88-92
カーボンブラック	1333-86-4	8-10	—	—
ピグメントレッド170	2787-76-7	—	6-8	—
モノアゾ顔料	非開示	—	—	6-8

4. 応急措置

吸入した場合 : ただちに新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じ医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水及び石鹼で洗い落とす。水痘痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じ医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。医師の手当て、診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。医師の手当て、診断を受けること。無理に吐きださせてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 泡、粉末、二酸化炭素、噴霧水が有効である。

使ってはならない消火剤 : 棒状の水。

火災時特有の危険有害性 : 火災によっては、刺激性、毒性のガスを発生させるおそれがある。

特有の消火方法 : 消火作業は風上から行う。周辺の設定に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 適切な保護部 (手袋、眼鏡、マスク) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :

屋内の場合、処理が終わるまで必要に応じ換気を行う。

漏出した場合は周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入り禁止をする。

こぼれた場所は滑りやすいので注意する。

作業に際しては保護具 (「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照) を着用する。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

(封じ込め及び浄化の方法・機材) :

濡れた液やこぼれた液を密閉式の容器にできる限り集める。

少量の場合は、吸収剤 (おがくず・土・砂・ウエスなど) で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾でよく拭き取る。

大量の場合は、土砂など (の不燃物) で囲って流出を防止し、スコップまたは吸引機などで空容器に回収する。

用いる全ての設備は接地する。

二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取り除く。(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止) 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項 : 火気注意。接触、吸入又は飲み込まないこと。眼との接触を避ける。

ミスト、蒸気を吸入しないこと。取扱い後は良く手を洗うこと。

適切な排気換気装置を使用する。取扱い後はよく洗うこと。

接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術対策 : 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触危険物質 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

適切な保管条件 : 酸化剤から離して保管すること。換気の良い場所で保管すること。

安全な容器包装材料 : 金属製の石油缶やポリエチレン、ポリプロピレン製容器。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : ACGIH (2013年版) 設定されていない。

日本産業衛生学会 (2019年版) 設定されていない。

設備対策 : 屋内作業所での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置することが望ましい。

取扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗眼設備を設け、位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具 : 状況に応じ、有機溶剤用マスク等を使用。
手の保護具 : 不浸透性保護手袋。
眼、顔面の保護具 : 側板付保護眼鏡 (必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡)。
皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴。
特別な注意事項 : 情報なし。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態、色 : 黒色液体、赤色液体、朱色液体。
臭い : 特徴的な臭気。
沸点又は初留点及び沸点範囲 : なし (分解)。
可燃性 : あり。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 下限 データなし、 上限 データなし。
引火点 : 202°C (黒)、215°C (赤、朱色)
自然発火点 : データなし。
分解温度 : データなし。
pH : 非該当。
動粘性率 : 粘度 500 - 800mPas・s (20°C) (黒)
粘度 800 - 1200mPas・s (20°C) (赤)
粘度 600 - 900mPas・s (20°C) (朱色)
溶解度 : 水に不溶、低級アルコール、グリコールエーテルに可溶。
蒸気圧 : データなし。
密度及び/又は相対密度 : 約1.0 - 1.05
相対ガス密度 (空気=1) : 非該当。
粒子特性 : 液体のため非該当。
その他のデータ : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常取り扱い条件下では反応しない。
化学的安定性 : 通常取り扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性 : 酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件 : 高温。
混触危険物質 : 強酸化剤、酸、塩基。
危険有害な分解生成物 : 燃焼により二酸化炭素及び一酸化炭素を生成する可能性。

11. 有害性情報

急性毒性 : LD₅₀ (経口) ラット 15400mg/kg (カーボンブラック)
ラット 2410mg/kg (ポリプロピレングリコール)
LD₅₀ (経皮) データなし。
LC₅₀ (吸入) データなし。
皮膚腐食性/刺激性 : データなし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : データなし (分類できない)。
呼吸器感受性 : データなし (分類できない)。
皮膚感受性 : データなし (分類できない)。
生殖細胞変異原性 : データ不足 (区分できない)。
発がん性 : カーボンブラックは、IARCのクラス2Bに分類されるが、印刷インクなどの混合物としてIARCのクラス3 (ヒトに対する発がん性が分類できない) に分類されることから、発がん性区分は分類できないとした。(黒)
データなし (分類できない) (赤、朱色)
生殖毒性 : データなし (分類できない)。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : データなし (分類できない)。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : データなし (分類できない)。
誤えん有害性 : 高粘度のため区分に該当しない。

1 2. 環境影響情報

製品の環境影響情報 : データなし。

成分の環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性) : データなし。

水生環境有害性 長期 (慢性) : データなし。

オゾン層への有害性 : モントリオール議定書の付属書に列記されていないため、分類できないとした。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。

汚染容器・包装 : 容器を洗浄してリサイクルするか、廃棄する場合は、内容物をできるだけ除去後に処分する。これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてからでないと排出してはならない。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (ADR/RIDの規定に従う) : 区分に該当しない。

海上輸送 (IMOの規定に従う) : 区分に該当しない。

航空輸送 (ICAO/IATAの規定に従う) : 区分に該当しない。

輸送又は輸送手段に関する特別な安全対策 : 輸送に際しては、容器の破損、腐食、濡れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内法規制がある場合の規制情報

陸上規制情報 : 消防法の規定に従う。

海上規制情報 : 該当しない。

海洋汚染物質 : 該当しない。

航空規制情報 : 該当しない。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : ラベル表示及び名称を通知すべき危険物及び有害物
カーボンブラックが該当

化管法 (PRTR) : 該当しない。

消防法 : 第4類第4石油類危険等級III

船舶安全法 : 該当しない。

航空法 : 該当しない。

1 6. その他の情報

本安全データシートは、化学製品の工業的な一般的な取扱いに際しての安全な取扱いについて最新の情報を集めた資料ですが万全ではありません。

新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正されることがあります。

化学製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用したりするときは、使用者が安全性の評価を実施する必要があります。

本安全データシートは保証値ではありません。

参考文献 : GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z7253:2019)
製品安全データシート作成指針(改訂2版) 社団法人日本化学工業協会編集
仕入会社提出SDS

改訂の記録 : 2023年08月21日 改訂1 (全面改訂)